

各棟別に記載
提出図面に番号等を記載し
照合可能にする。

新旧対照表

	用途	規模・構造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建蔽率 (%)	容積率 (%)
新	1. 住居 2. 倉庫 3. 車庫	1. 木造2階建 2. 鉄骨平屋建 3. 鉄骨平屋建	530.00	1. 100.00 2. 50.00 3. 35.00 計 185.00	1. 180.00 2. 50.00 3. 35.00 計 265.00	34.90	50.00
旧	1. 住居 2. 倉庫 3. 車庫	1. 木造2階建 2. 鉄骨平屋建 3. 鉄骨平屋建	〇〇〇.〇〇	1. 120.00 2. 50.00 3. 35.00 計 205.00	1. 120.00 2. 50.00 3. 35.00 計 205.00	38.70	38.70
倍率	—	—		—	1.29		

実測面積と同じ面積とする。
ただし、セットバックする場合は有効面積とする。

建築時と敷地面積が異なる場合は、記入する。

各棟別に記載する。
計画配置図と同じでなければならない。

適法な建築物のみ各棟別に記載。
実測面積を記載する。
適法書類と実測面積との数値が異なる場合は理由書等を添付する。(建築物の増築にかかわる床面積の合計が 10 ㎡以内であれば添付は不要。)